



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

33号

平成30年 8月 29日発行

～看護部長のあいさつ～



残暑お見舞い申し上げます。

日頃より皆様には地域連携にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年5月より関係機関のご尽力のもと産婦人科外来が再開され、今年7月には産婦人科医師が着任されました。同月に分娩再開に向けて病棟編成を行い3階病棟が泌尿器科、整形外科、産婦人科の混合病棟（34床）となりました。今年入職した助産師はこれまで助産経験のみでしたが、

他科疾患の習得、処置等のスキルの獲得、電子カルテに格闘しながら並々ならぬ努力を重ねております。分娩再開に向けて助産師、看護師ともに課題を一つ一つクリアし、ご期待に添えるよう努力してまいります。

昨年から西諸地域で取り組んでまいりました「にしもろ入退院調整ルールブック」が5月に策定されました。入退院において看護師等を中心とする医療機関スタッフと介護支援専門員等の情報共有やコミュニケーションが円滑に行われる事と高齢者の方が住み慣れた西諸地域で自分らしい生活を送ることが出来、また、ご家族の方の不安が解消する事を目的としています。これからも「にしもろ入退院調整ルールブック」を活用し、支援・連携をさらに強めていきたいと思っております。

今年5月より多職種協働にて入院時支援を開始しました。具体的には予定入院の患者さんへ多職種（看護師、管理栄養士、薬剤師、退院調整看護師又は社会福祉士、医療事務）にて入院説明、禁煙指導、栄養スクリーニング、薬剤確認、各種相談等を実施しています。患者さんやご家族は余裕をもって各担当者から説明を受けられ、医療従事者も早期に予測される問題点の抽出が可能となります。今後も入院生活の不安が軽減され在宅での生活が継続して送れますよう取り組んでまいります。

引き続き地域の医療機関、介護施設、行政の皆様と連携を図り看護の質向上に努めてまいりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

小林市立病院 看護部長 漆原 トモ子

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



診療部紹介

今回は

整形外科

です。

★ 疲労骨折 ★

疲労骨折は、骨の同じ部位に繰り返し加わる小さな力によって、骨にひびがはいったり、ひびが進み、完全な骨折に至った状態です。

サッカー、陸上中長距離、野球、バレーなどの、若年のスポーツ選手に多いです。

また、病的骨折を鑑別にいれ骨腫瘍の検索を行う必要もあります。

成長期における疲労骨折は、下肢に多く、特に、脛骨と中足骨は、全体の6割をしめています。

大腿骨の疲労骨折は、近位・骨幹部・遠位いずれでも生じます。検査としては、単純X線写真、それで異常がなくても、CT、MRI、骨シンチグラフィで診断されます。

疲労骨折は、骨端線が閉鎖するに伴い多く発症するといわれていますが、骨の成長が未発達な時期にも過度のストレスが加わると発症します。

大腿骨疲労骨折は、疼痛部位と骨折部位が一致しないこともあり、注意が必要です。大腿骨周囲は、軟部組織、筋組織が多く、疼痛部位を特定するのが、難しいとされています。

骨折転位がなければ、保存的加療で、治療することが多く、運動中止期間は、1から3ヶ月間で、競技復帰は、2.5から4.5ヶ月後程度です。

転位を伴う骨折は、手術を必要とすることがあります。

症状や運動習慣から、疲労骨折を疑った場合には、膝周囲、股関節周囲、大腿周囲、脛骨周囲に、違和感が継続すれば、画像検査を追加し、リスクを説明し、運動を中止するなど、慎重な方針が必要です。

★ Coffee break ★

こむら返りは、主に下肢に生じる、有痛性筋痙攣で、高齢者が多く、夜間に起こることが多いため、睡眠障害の原因となります。原因は、筋疲労、発汗脱水による電解質異常、血液障害、末梢神経障害、神経筋疾患、肝硬変、原因不明などです。

薬物療法として、芍薬甘草湯、四物湯、八味地黄丸などあります。

予防として、入浴時のストレッチがあります。いつでも、外来でご相談くださいませ。



診療部長 整形外科 中村 憲一

4 階 東 病 棟 です。

4 階東病棟を紹介します。当病棟は「地域包括ケア病棟」で、平成 29 年 7 月に開設し 1 年が経過しました。

今年 7 月の病棟編成に伴い、3 階病棟から 4 階東病棟へ移動となりました。病床数は 23 床で、看護師 16 名、看護補助者 2 名、病棟クラーク 1 名で運営しています。地域包括ケア病棟では、主に急性期治療を終えた一般病棟患者の受け入れを行い、在宅への退院支援をしています。

今後はレスパイト入院（在宅で介護をする家族が一時的に介護から解放され、休息をとれるよう支援する）も行っていきます。在宅復帰率 7 割以上を目標とし、最大 60 日の入院期間でいかに効率良く、患者・家族の状況を把握し在宅復帰支援を行なうかが鍵となります。入院後 1 週間以内の毎週金曜日に、看護師・ソーシャルワーカー・リハビリスタッフ・栄養士で多職種カンファレンスを開催し、患者・家族の情報交換や今後すべきこと、方向性を話し合い情報共有します。必要に応じて、本人・家族と介護支援専門員・訪問看護師・施設スタッフ・福祉用具事業者などの多職種も参加してもらい、退院支援カンファレンスを開催します。患者・家族の意思確認を行い、退院後の生活を具体的にイメージして必要とされる支援内容を挙げ、退院に向けて一つ一つ準備していきます。看護師の役割として、ADL アップや在宅で継続される医療処置の指導、再入院を繰り返さないための生活指導を行い、予防を図ることが重要であると考えます。

今後も地域包括ケア病棟の役割を担い、地域・多職種スタッフと連携を図りながら、「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすための、患者中心の在宅復帰支援」を行ないたいと思います。

多職種カンファレンスの様子



4 階東病棟 副看護師長 海蔵 章代

地域医療連携室よりお知らせ

第30回症例検討会開催、 次回開催日程および演題募集のご案内

平成30年7月30日（月）に「第30回症例検討会」を当院2階大会議室にて開催しました。
今回は、院外からの発表もあり、大変充実した会となりました。ありがとうございました。

第30回症例検討会

日時：平成30年7月30日（月）18時30分～

座長：小林市立病院 院長 徳田 浩喜



①感染管理認定看護師として～5年間の活動報告～

小林市立病院 看護部 田中 久雄

②退院支援看護師として脳血管疾患の対印支援を行った1例

小林市立病院 看護部 大神 洋子



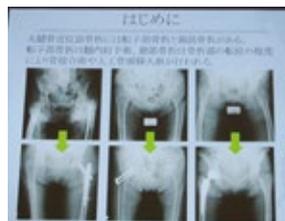
③吸光度異常値を示したアミラーゼ

小林市立病院 臨床検査室 中屋敷 一美

④自殺未遂者の再企図防止に向けた体制づくりについて

～西諸地域自殺未遂者支援事業連携体制の見直しを通して～

小林保健所 川平 陽子



⑤当院における大腿骨頸部骨折手術に対する新たな取り組み

小林市立病院 井内 智洋



第31回症例検討会の開催に向けて演題を募集いたします。

開催日時：平成30年10月29日（月）大会議室 18:30～

募集演題

*演題：医療に関するものであれば可です。発表時間は、5分程度を予定しております。

*募集方法：演題名、演者名、共同演者、所属、抄録本文（全角400文字程度）を作成し、

*E-mail：k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp までお送りください。

*スライド：PowerPoint2013

詳しくは地域医療連携室へお問合せ下さい。

連絡先：TEL 0984-23-8225（直通）/FAX 0984-23-8226



九月 行事食 敬老の日

おしながき

- ・ ホイル焼き
- ・ 冷や汁
- ・ 煮物
- ・ 天麩羅
- ・ 寒天ゼリー

2018年 敬老の日は9月17日

敬老の日は、国民の祝日に関する法律第2条によれば

『多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う』
ことを趣旨としています。



～敬老の日の始まり～

1947年(昭和22年)9月15日に村主催(兵庫県多可郡野間谷村)の『敬老会』を開催したのが『敬老の日』の始まりとされています。9月15日という日取りは、農閑期にあたり気候も良い9月中旬ということで決められております。

今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



平成30年第1回消防訓練



平成30年6月5日（火）今年度第1回の院内消防訓練を実施しました。

雨が降る中、西諸広域のスタッフ、九州消防のスタッフのご指導のもと無事に訓練することができました。



患者役とスタッフ役に分かれてビブスや名札を身に付けます。

それぞれ配置につき、しばらくして非常ベルが作動！

非常ベルが鳴り響き、訓練開始です。

参加スタッフが避難している姿は、本当に火事起きたかのような鬼気迫る緊張感でした。

無事に訓練参加者全員が外へ出た旨、消防の方へ報告し避難完了です。

その後、水消火器を用いた消火の訓練を行いました。

激しく出る水のコントロールは難しく、標的を消火するのに苦戦しました

消防署の方からは全体的にスムーズな対応が出来ていたとの評価を頂きました。

訓練で実践したことをしっかり覚え、万が一に備えたいと思います。



スタッフのひとこと

みなさん暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか？

7月より育児休暇から復帰して家事に育児にとあっという間に過ぎる日々を過ごしています。我が家の子供2人新しい保育園に通うようになり毎日泣きながら保育園に頑張っている様子です。復帰後は産婦人科外来に配属され、新しい部署で仕事をしています。

これから暑い日が続きますが、こまめな水分補給をし熱中症等、体調管理には気をつけてお過ごし下さい。



医師事務作業補助者 橋本 美彩子